

質 問 書

※ この MS-WORD 文書のまま送付お願いいたします。(PDF 等のフォーマットへ変換しないでください)

2021 年 7 月 20 日

「モンゴル国学校給食導入支援プロジェクト」(公示日:2021 年 7 月 7 日/調達管理番号:21a00388)について、質問と回答は以下の通りです。

通番号	当該頁項目	質問	回答
2021 年 7 月 14 日			
1	18 ページ (5)活動の概要【成果 1 に係る活動】	1-2-8「1-2-7 で確立した栄養摂取基準・献立を、国家検査庁による給食の検査項目に追加する。」については、改善された献立で栄養摂取基準の栄養が満たされているかを検査するという意味でしょうか、それともサンプルとして抽出された学校の給食が栄養摂取基準の栄養素を満たしているか、モデル献立に沿っているかを検査するという意味でしょうか。	国家検査庁は毎年全国の学校からリスクのありそうな学校約400 から500 校を対象に、50 から60 項目からなるチェックリストを用いて、外部・内部環境、人員配置状況、カリキュラム、食品の安全、軽食関係の法令の施行状況、調理場の大きさ、機材容量、1 日に出す食事の回数、カロリー等を検査しています。プロジェクトにより確立した栄養摂取基準・献立の普及に向けて、同検査項目を見直しの上、必要に応じて項目を追加するという趣旨です。
2	22 ページ (7)児童のための栄養摂取基準(案)の策定の支援	食事状況調査の再委託費用につきおおよそ 2000 万円程度を想定しているとありますが、定額計上が可能でしょうか。見積もり根拠が必要でしょうか。	おおよそ 2000 万円程度を想定し、見積もり根拠をプロポーザルにてご提案ください。
3	23 ページ (10)供与機材	機材調達の費用についてはおおよそ 500 万円程度を想定しているとありますが、定額計上が可能でしょうか。見積もり根拠が必要でしょうか。	おおよそ 500 万円程度を想定し、見積もり根拠をプロポーザルにてご提案ください。

4	23 ページ (12) 根拠ある効果の検証	「モデルの発信に必要と考えられる根拠(エビデンス)に基づいた分析手法」とは論文に書けるような、対照群、非対称群を作って効果を検証するところまで求められますか。	ここでの趣旨は、「統計学的手法等を用いて、根拠に基づいて、適切に効果が分析されること」ですので、論文に投稿するようなエビデンスレベルを求めているわけではありません。具体的な検証方法をプロポーザルの中で適宜ご提案いただければと思います。
5	23 ページ (13) 本邦研修の実施及び 26 ページ (3) 本邦研修の実施	「実施業務に関連する経費も併せて積算すること」とありますが、「本邦研修受入業務、監理業務は JICA で対応する」と明記されていますので、国内外の移動にかかる費用は積算外という理解でよろしいでしょうか。また宿泊費についても JICA センターの利用を前提として積算外としてよろしいでしょうか。	研修員の受入に係る経費（航空券、国内移動旅費、宿泊費、滞在費等）や研修監理員／同行案内人に係る経費については、JICA が負担しますので、契約金額に含める必要はありません。詳しくは、「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」もご参照ください。
6	24 ページ (13) 本邦研修の実施	「なお、2021 年 12 月に栄養サミットが日本で実施された際、もし新型コロナウイルスの影響が緩和され、短期研修員の受入れが可能となった場合には、サミットの時期に合わせて国別研修の実施を検討する。」とありますが、国別研修はプロジェクトのスコープ外(見積もり不要)でしょうか。	ここでの「国別研修」につきましては、「本邦研修」と同義ですので、費用の考え方につきましては、23 ページの(13)、及び「コンサルタント等契約における研修・招へい実施ガイドライン」に記載の通りです。

以上